

【参考】

○北東アジア港湾局長会議の概要

北東アジア港湾局長会議は、各国の港湾の発展のため、港湾行政全般にわたり広範に意見交換を行うとともに共同研究を実施すること、各国港湾関係者の友好関係の増進等を目的としています。

1995年から1999年までの5年間、韓国政府の港湾担当部局との間で開催していた日韓港湾局長会議を発展的に解消し、2000年より中国を加えた3カ国で開催されてきました。

各国の代表は、日本国国土交通省港湾局長、大韓民国海洋水産部港湾局長、及び中華人民共和国交通部水運司長です。

なお、ロシアについては、オブザーバーとして参加しています。

○北東アジアクルーズの振興についての3ヶ国共同宣言

北東アジア港湾局長会議の共同研究（北東アジアにおけるクルーズの振興等）の結果を受け、北東アジアにおけるクルーズ振興のための行動計画を盛り込んだ3ヶ国共同宣言について検討する予定です。